

meccカーボンオフセット

meccでは、会員事業者向けのサービスとして、カーボンオフセット用の二酸化炭素の排出権を2008年に100トン分購入しました。すでにさまざまな事業活動(報告書印刷、イベント運営等)のオフセットにご活用いただいています。2016年度末までの消却分は48トンとなっており、2017年度以降の消却分として52トンが持ち越されています。

使用実績

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| ◎ イベント運営 | エコライフ・フェアMINATO運営(2012年度～2016年度) |
| ◎ 印刷物製作 | meccレポート |
| ◎ 各社報告書印刷 | ・森ビル ・あすか製薬 ・NECキャピタルソリューション |



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で作りました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール(VOCの一種)等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP(Computer to Plate)方式の採用により製版用現象液やフィルムを全廃しています。



みなと環境にやさしい事業者会議2016年度 活動報告書

発行 みなと環境にやさしい事業者会議
〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内(3F)
TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282
Mail info@mecc-minato.net

発行日 2017年5月23日

製作 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局

2016年度 活動報告書



みなと環境にやさしい事業者会議
minato eco-conscious consortium



設立趣旨

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海水の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然環境を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、私たちみんなの責務です。

便利さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量廃棄という社会生活の基本スタイルを、市民、企業、行政を始めとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。

港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。この特長を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまでにない環境保全活動の取組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みなと」という地域に集うわたしたちのネットワークは、そんな大いなる

可能性を秘めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境にやさしい事業者会議」は平成18年5月に設立され、今年で12年目を迎えます。

「みなと」にかかわるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行なわれる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地球環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として、業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場に、環境に対する互いの意識を高めあえる場に、そしてアイデアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。

この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。



2016 Activity Calendar & Map

2016年度 活動カレンダー & マップ

2016年	5月	22日	①エコライフ・フェアMINATO2016 エコバザー・バードウォッチング
		24日	②総会・第1回meccセミナー
	6月	21日	③第2回meccセミナー
		7月	22日
	28日		⑤赤坂打ち水大作戦
	30日		⑥みなとクリーンアップ大作戦2016・エコバザー
	8月	4日	⑦ハマサイト打ち水大作戦・エコバザー
	9月	6日	⑧第1回meccツアー
		13日	⑨第3回meccセミナー
	11月	4日	⑩企業と環境展
			⑩企業と環境展 高校生による環境ラジオCMコンテスト
		6日	⑩大学生による環境ビジネスアイデアコンテスト
			26日
2017年	1月4～31日	⑫ mecc EXPO	
		18日	⑬第4回meccセミナー
	3月	14日	⑭第2回meccツアー

※8月3日比谷通り、8月23日お台場打ち水大作戦は、雨天のため中止となりました。



2016年度報告書目次

- 01 設立趣旨
- 02 活動カレンダー／港区活動マップ
- 03 ごあいさつ
- 04 総会
- 05 企業と環境展
 - ◎実施概要・meccギャラリー・テーブル広告・資料展示
 - ◎シンポジウム・事例発表
 - ◎親子ワークショップ
 - ◎高校生による環境ラジオCMコンテスト・大学生による環境ビジネスアイデアコンテスト
- 13 meccセミナー
- 15 meccツアー
- 16 みなとクリーンアップ大作戦・meccエコバザー
- 17 打ち水大作戦
- 19 スポーツGOMI拾い大会
- 20 mecc EXPO
- 21 meccに参加するには？

みなと環境にやさしい事業者会議におかれましては、「打ち水大作戦」や「企業と環境展」、「スポーツ GOMI 拾い大会」など、事業者・区民・区の協働の場となる活動に積極的に取り組んでいただいております。これまでの活動に対して、あらためて感謝申し上げます。

このたび、区とみなと環境にやさしい事業者会議との間で、みなとタバコルール連携協力に関する協定を締結し、区内の環境美化及び喫煙による迷惑の防止に向けて事業者会議の大きな協力を得られることになりました。

港区には、多くの事業所や商業施設が立地しております。平成28年度に実施した区内喫煙場所における聞き取り調査では、喫煙者の約9割が在勤者、来街者であることが分かっており、こうした方々への制度の周知徹底が課題と考えております。今後も、たばこを吸う人も吸わない人も快適に過ごせるまちの実現を目指して、みなとタバコルールの推進に全力で取り組んでまいります。みなと環境にやさしい事業者会議の皆様におかれましても、一層のご協力をお願いいたします。

今後も、地球規模の環境問題の解決に向けた、会員事業者の皆様の積極的な取組を通じ、みなと環境にやさしい事業者会議の活動が益々発展されることを祈念いたします。



港区長

武井 雅昭

ごあいさつ

平成18年5月に設立されたみなと環境にやさしい事業者会議(mecc)は、今年で12年目を迎えました。会員数は、当初の29事業者から輪が広がり、平成28年度末で53事業者となりました。この間、会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成28年度におけるmeccの活動を振り返りますと、セミナーやツアーなどの会員事業者間の交流・情報共有の場に加え、年間的一大イベント「企業と環境展」や夏の風物詩「打ち水大作戦」、地域の恒例イベントとして定着しつつある「スポーツGOMI(ごみ)拾い大会」といった、会員事業者と区民、地域との結びつきを強めるイベントなど、多様な活動を行ってまいりました。

特に、昨年度新たに実施した「mecc Expo」や「mecc フォトギャラリー」はともに好評で、この活動を機に新たな会員事業者が加わっております。

みなと環境にやさしい事業者会議では、今後も、会員事業

者間の連携を深め、次世代の環境分野をリードする新たな事業に取り組んでまいります。皆様のより一層のご協力をお願いします。



みなと環境にやさしい
事業者会議
会長・港区副区長

小柳津 明



2016年度の活動プランを考える

総 会

mecc 会長、mecc 会員事業者、港区長が一堂に会し2016年度の活動プランを話し合う総会を開催しました

5月24日、慶応義塾大学・芝共立キャンパスにて、武井雅昭港区長、mecc 会長・小柳津明港区副区長、会員27事業者の出席の元、2016年度総会を開催しました。

冒頭、武井港区長から、「区・区民・事業者との連携を深め、会員事業者の環境問題に対する積極的な取組みを行って欲しい」とご挨拶をいただきました。小柳津会長からは、COP21の長期目標を例にあげ、「mecc 会員事業者と地域の連携を図り、港区の環境保全活動をさらに積極的に取組みたい」と目標を述べられました。

続いて、2015年度の会計収支と活動報告を事務局から行い、スポーツ GOMI 拾い大会の様子を映像で紹介しました。事務局から説明した2016年度事業計画は、満場一致で可決されました。

総会終了後に行われた第1回 mecc セミナーでは、雑誌「オルタナ」編集長・森 摂氏から「最新CSR/CSV事情：「社会対応力」で組織力を強化」をテーマに、コミュニティの大切さ、価値観の共有など、CSRの目標を講演いただきました。講演終了後は、参加事業者から自己紹介を兼ね各社のCSR活動などを発表いただく時間を設けました。参加全事業者で情報交換を行い「自社の課題に対し、既に取り組んで実績を残している事業者があることを知り参考になった」「自社のコンテンツを他社と共有しながら活動を広げていけそうだ」など事業者同士のネットワークが広がる機会となり、大変好評をいただき閉会しました。



mecc最大のイベント

企業と環境展

会員事業者の活動報告や将来の環境を担う若者向けのプログラムを開催しました。



企業と環境展 2016 プログラム

◎場所:六本木ヒルズ2階「ヒルズカフェ/スペース」 特別協賛・森ビル

◎日時:2016年11月4日(金)～11月6日(日)

1日目__11月4日(金)	【会長挨拶】みなと環境にやさしい事業者会議会長／小柳津明 港区副区長 【シンポジウム】15:10～16:10 「環境CSR活動の成功事例発表」 講師／リコージャパン 太田康子 氏 【会員事例発表】16:20～17:40 登壇者:アクセンチュア、世紀東急工業、日本電気、森ビル 1. アクセンチュア 「エコにつながるワークスタイル」 谷村春香 氏 2. 世紀東急工業 「遮熱アスファルトなど、環境製品の紹介」 板東芳博 氏 3. 日本電気 生物多様性保全活動「NECネイチャークエストin芝公園」～芝公園にアサギマダラを呼ぼう～ 池田俊一 氏 4. 森ビル 「緑地を活用した地域活動「街育」の取り組みについて」 名取万理子 氏
2日目__11月5日(土)	【高校生による環境ラジオCMコンテスト】 課題提供:カワセ印刷、パシフィックネット CM制作協力:太陽企画、博報堂 【親子で学ぶ環境ワークショップ】 「世界にひとつ、自分だけの「赤谷の森カスターネット」を作ろう!」 提供:ニコン 「お絵かきの森」 提供:森ビル
3日目__11月6日(日)	【親子で学ぶ環境ワークショップ】 「動物ものまねクイズ! タブレットでクイズ番組を作ろう!」 提供:パシフィックネット 「カードゲームで学ぶ環境ワークショップ」①② 提供:ベネッセコーポレーション 【大学生による環境ビジネスアイデアコンテスト】 課題提供:ベネッセコーポレーション、プロネクサス

11月4日～6日に六本木ヒルズ・ヒルズカフェにてmecc活動でも大きなイベントの一つである企業と環境展2016を開催しました。会員事業者の発表や、親子向けワークショップのほか、未来の環境を担う小学生、高校生、大学生向けの様々なプログラムを開催しました。

4日、5日は、親子向け環境ワークショップと、高校生、大学生のプログラムを行いました。親子向けワークショップでは、会員事業者4社にご協力いただきました。ワークショップは、毎年定員を上回る申込みがあります。親子と一緒に企業の環境活動を勉強し、家庭などで環境について話し合う貴重な機会を提供しています。

5日は、高校生による環境ラジオCMコンテスト、6日は大学生による環境ビジネスアイデアコンテストなど、次世代を担う若い年代に向けたコンテンツも展開しました。

meccギャラリー



企業と環境展の連動企画として港区にある自然や生物多様性をテーマに写真を募集し、ヒルズカフェに展示しました。初回ながら、70作品以上が集まり、企業と環境展の来場者増加につながりました。

テーブル広告・資料展示



- ① 会場入り口横にはプログラムを掲出。ヒルズカフェ付近の通行者のアイキャッチとなりました。
- ② 中央のラックにはCSR報告書を並べ、各社の取り組みを紹介しました。
- ③ 会場内のテーブル(一般のカフェスペースのテーブルも含む)には各事業者の広告を貼り出しました。
- ④ 壁面には、mecc活動紹介、協賛企業のパネル展示を行いました。



企業と環境展

シンポジウム・事例発表

会員事業者による、シンポジウムと事例発表を行いました



シンポジウム

「環境CSR活動の成功事例発表」 リコージャパン 太田康子 氏



リコージャパンCSR推進室太田氏をお招きして講演頂きました。太田氏は、CSRを通して会社を越えたつながりをつくり、企業や団体へのイベント登壇、雑誌の寄稿など幅広く活躍するだけでなく企業のCSR担当者の団体「CSR48」の総監督としても活動されています。社会問題が噴出するなか、企業が環境やCSRに取り組む理由や、リコージャパンとしてのSDGs（持続可能な開発目標）などを解説いただきました。

また、広報にも積極的に取り組んでおり、社内向けには掲示板の利用と報告・勉強会、社外向けにはWebの活用・CSR報告書の提供・NPOとの連携をするなど、実例と共に具体的にご紹介頂きました。



事例発表1

「エコにつながるワークスタイル」

アクセンチュア 谷村春香 氏

世界に37万人が在籍するアクセンチュア。交通機関利用時のCO₂削減、ペーパーレス、節電などについて世界全社で共有し解決をしていく取組みを行っています。2016年オリンピック開催時には「エコリンピック」と題し、各国対抗で環境負荷の削減項目を競いあったそうです。会場では、六本木ヒルズと横浜の事業所をITで結び、会議のデモンストレーションも行われました。



事例発表2

「遮熱アスファルトなど、環境製品の紹介」

世紀東急工業 板東芳博 氏

研究開発から製造を行っている「遮熱アスファルト」を中心にお話しいただきました。首都圏の大きな問題となっているヒートアイランド現象は、冷房などの空調、比熱の大きいコンクリートとアスファルトによる熱吸収、窓の反射の輻射熱などが要因として挙げられています。遮熱アスファルトを会場へ持参いただき、通常のアスファルトとの違いを体験しました。



事例発表3

「生物多様性保全活動「NECネイチャークエストin芝公園」
～芝公園にアサギマダラを呼ぼう～」

日本電気 池田俊一 氏

芝公園で行っている生物多様性保全活動と、社会とNECグループの持続可能な発展を目指し取り組んでいる、中・長期的な目標を紹介いただきました。自然環境を整備しながら生物の環境を守るネイチャークエストは、2011年から活動を開始し、すでに約1,500名が参加しており、社員だけの参加ではなく行政と地域を結びつける活動に成長を続けているそうです。



事例発表4

「緑地を活用した地域活動「街育」の
取り組みについて」

森ビル 名取万理子 氏

緑地を活用した地域活動「街育^{まちいく}」について紹介いただきました。「安全・安心」と「環境・緑」と「文化・芸術」というそれぞれのミッションに基づいて社会に貢献できる取組みを行っており、2007年から開始した「ヒルズ街育プロジェクト」では、参加者が10,000人を突破。入社3年目の社員全員が研修として街育を担当し、環境や緑について考える良い機会となっているそうです。



企業と環境展

親子ワークショップ

企業の取組みを区民や子どもたちに知っていただく貴重な時間。
環境について勉強したり、親子の会話が弾むワークショップです



世界にひとつ、自分だけの 「赤谷の森カスタネット」を作ろう！

提供／ニコン



群馬県みなかみ町にある「赤谷の森」の倒木や間伐材を利用した、カスタネット作りをしました。最初に、赤谷の森の環境活動の取り組みや、この森に生息する動物の紹介がありました。会場内には、絶滅危惧種に指定された「イヌワシ」の羽を広げた1メートルを超す実物大パネルが展示され、子どもたちから驚きの声が上がっていました。

カスタネット作りでは、みな思い思いに色を塗っていき、出来上がった音色を楽しんだり、リズム遊びをしたりと終始賑やかな音が響いていました。

ニコン 立木氏

私たちが応援する赤谷の森の環境活動から生まれたカスタネットを鳴らすたび、子どもたちが森の大切さを思い出してくれるとうれしいです。



お絵かきの森

提供／森ビル



六本木ヒルズで拾われた、枝や落ち葉、木の実などを使ってお絵かき(コラージュ)をしました。実際の葉っぱの形を見て、完成系を相談しながら、親子で一緒に手を動かして作る姿が印象的でした。

また、作業をしながら葉っぱの手触りを楽しんだり、匂いをかいでみたりする様子も見られました。出来上がった作品は、フレームから飛び出す大胆なものや、子どもならではのユニークなものが沢山ありました。

森ビル 峰崎氏

六本木ヒルズの木の実や葉を使い、額縁の中に自由に作品を作りました。植物の特徴から想像力を活かし、個性溢れる作品が出来ました。作品は記念写真と一緒に持ち帰り頂き、思い出に残るプログラムとなりました。



動物ものまねクイズ！ タブレットでクイズ番組を作ろう！

提供／パシフィックネット



リユースタブレットを利用した、コミュニケーション型のワークショップを行いました。まずは機材を使わず、円陣をつくり隣の人へ拍手を送り伝えていく、体を使った情報伝達を体感しました。

その後チームに分かれ、それぞれ決めた動物のモノマネを動画で撮影し、動物当てクイズをしました。画面にはモノマネをする動物の一部だけが写っており、何の動物かを想像しながら当てていきます。遠く離れた人とタブレットを通して取るコミュニケーションの違いを楽しく学びました。

パシフィックネット 杉氏

リユースタブレットを活用したコミュニケーションのワークショップを行いました。子供たちは、モバイルデバイスに普段から慣れ親しんでいる様子でしたが、使うだけでなく、ITを活用する意義を理解して頂けました。



カードゲームで学ぶ 環境ワークショップ

提供／ベネッセコーポレーション



「自分の作るカレーが、環境にどれだけ負担なくおいしく作れるか？」をカードを使い学びました。国内外の産地が書かれた具材のカードが用意され、流通の交通機関や、調理機材まで、食卓に並ぶまでどのように作るかをチーム別に発表しました。外国産は値段は安いですが、運搬時のCO₂量が気になるなど、悩んだそうです。最後はそれぞれにかかるコストと、負荷内容がポイント別になっており、その合計で優勝チームが決まり、大きな拍手をもらっていました。

ベネッセコーポレーション 荒木氏

東京大学大学院大都市工学研究室と産業総合研究所と協同開発した環境カードゲーム「カレー作りで地球を救おう!」を実施いたしました。





企業と環境展

高校生による 環境ラジオCMコンテスト



高校生が企業の環境に対する取組みをラジオCMで表現しました

- 課題提供**
- カワセ印刷 「エシカル・バナナペーパーの取組み」
 - パシフィックネット 「パソコンの3Rとリユース for キッズの取組み」
- CM 制作協力**
- 太陽企画・博報堂

会員企業の環境の取組みをもとに、高校生がラジオCMのシナリオ作りに挑戦するコンテスト。今年で4年目を迎えます。

企業と環境展に先立って10月15日に行われたオリエンテーションには19人の高校生が参加し、博報堂クリエイティブ局・福島氏のさまざまなラジオCMの手法についての講義につづき、会員事業者から課題の説明を受け、各自CMのイメージ作りに取り組みました。高校生にとってはラジオ自体なじみの薄いものになりつつありますが、テレビでは表現できない手法を教わりながら訴求ポイントなどを考えました。

その後、博報堂のコピーライターの添削・指導を受け、作品をブラッシュアップ。11月5日の企業と環境展では10人が最終プレゼンテーションに臨みました。審査を経て決定した最優

秀賞は、松岡カノンさんの作品で、バナナペーパーを人にたとえたユーモラスなものでした。

カワセ印刷 川瀬氏

初めて参加しましたが、高校生の発想の豊かさに驚きました。参加した高校生も積極的に貴重な時間を共有することができました。未来を担う彼らが、環境問題に少しでも興味を持ってくれると嬉しいです。



パシフィックネット 杉氏

学生の方ならではの新たな視点とユニークな表現で「パソコンの3Rとリユースforキッズの取組み」のラジオCM案を発表して頂きました。全ての提案が新鮮味に溢れ当社としても新たな気づきを得る事ができました。



企業と環境展

大学生による 環境ビジネスアイデアコンテスト



大学生が環境をテーマにビジネスを考えました

- 課題提供**
- ベネッセコーポレーション 「ベネッセに期待される環境教育のビジネスプラン」
 - プロネクス 「プロネクスが担う道志村の林業の活性化や地域おこしを目的とした、CSR 活動の未来形とは。そして、この CSR 活動を通したステークホルダーが納得出来るビジネスモデルを発想せよ」

環境ビジネスコンテストを主催する学生団体「em factory」とのタイアップでスタートした企画で、4回目の今年は11名の大学生が参加しました。

10月9日に行われたオリエンテーションでは、初めて会うメンバーとチームを編成するところからのスタートです。その後、会員事業者から課題の説明を受けました。いずれの課題も両事業者の本業に関わる重いテーマが与えられ、各チームともさっそく真剣に討議を開始。アイデアをつめていくチームもあれば、まずは現場確認の予定を立てるチームなど、戦略はさまざまでした。10月23日にはem factoryに中間発表を行い、軌道修正を経て、企業と環境展での本番に備えました。11月6日の最終プレゼンテーションでは、1チー

ム5分の時間制限いっぱいユニークなアイデアを発表。優秀賞は、「道志村集客案」を提案した多摩大学チームに贈られました。

ベネッセコーポレーション 荒木氏

どのチームもいろいろ調べて考えていただき、各オリエン企業と環境についての理解が進んだようです。今後も興味をもって取り組んでいただきたいと思います。



プロネクス 奈須野氏

「道志村に皆で行こう!」と言って頂いたことがとても嬉しかったです。環境ビジネスというテーマ以前に、まずは日本の林業が抱えている問題を身近に感じて頂けたならそれで十分満足です。有難うございました!





最新のCSR動向を知る

mecc セミナー

会員事業者のCSR活動をさらに発展させるために、セミナーを4回開催しました



第1回

最新CSR/CSV事情 「社会対応力」で組織力を強化

mecc総会終了後に行われたmeccセミナーでは、雑誌「オルタナ」編集長・森 撰氏から「最新CSR/CSV事情：「社会対応力」で組織力を強化」をテーマにお話いただきました。環境・CSRで唯一のビジネス情報誌「オルタナ」は会員事業者にも認知度が高く、わかりやすい内容で、コミュニティの大切さ、価値観の共有など、CSRの目標を中心に5つのポイントに分けて講演されました。

また、CSRとCSVだけでなく、企業が社会的課題の解決と経済的成果を目的としていることや、オープン・ソーシャル・イノベーションという新潮流、未来の顧客やファンを増やし、企業価値やブランド価値を高めるものであることが大切と説明いただきました。



◎日時:2016年5月24日(火) 15時30分～18時
◎講師:雑誌「オルタナ」編集長 森撰 氏
◎参加事業者:アクセンチュア、NECキャピタルソリューション、エムオン・エンタテインメント、鹿島建設、カワセ印刷、サントリーホールディングス、大地を守る会、太陽企画、DTS、東京ガス、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、日本電気、博報堂、パシフィックネット、長谷工コーポレーション、パナソニック ヘルスケア、プロネクス、文祥堂、ベネッセコーポレーション、マイラン製薬、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコージャパン
◎参加:45名

第2回

意外に知らないCSR基礎知識 ～企業価値を上げるCSR活動の3つのポイント～

前半は、CSR・CSVの基礎知識とその位置づけ、レポートの評価が高い企業の事例紹介や、評価される情報の開示方法・注意点を分かりやすく説明頂きました。後半は、「CSRチェックリスト」を使用し、6分野(CSR全般/ガバナンス/雇用・人材/消費者・取引先対応/社会貢献/企業と政治の関わり/環境)全115項目の中から現在取り組んでいるものに印を付けるワークショップを行いました。「多くの項目をチェックして行く中で、自社の傾向やウィークポイントが分かり良かった」「今後取り組みたい分野の指針に役立ちそう」という声がありました。



◎日時:2016年6月21日(火) 16時～18時
◎講師:CSRコンサルタント 安藤光展 氏
◎参加者:アクセンチュア、エムオン・エンタテインメント、サントリーホールディングス、ダイフク、東京ガス、パシフィックネット、プロネクス、ベネッセコーポレーション、港区 ◎参加:13名

サントリーホールディングス 梅井氏

CSRの歴史や最新情報をわかりやすく説明いただきました。また、各社の取り組み事例やワークショップのCSR自己評価では、今後のCSR活動のヒントになりました。

SUNTORY

第3回

CO-Net & MECC 連携公開セミナー 「脱炭素化に向けた低炭素社会の構築について」

meccが所有しているカーボンオフセットを会員事業者にも有効に活用いただくため、CO-Net(カーボン・オフセット推進ネットワーク)と共同でセミナーを開催しました。基調講演では、東北大学の明日香教授に「パリCOP21以降の世界と日本の温暖化対策」と題し講演いただきました。森ビルの武田氏には、ヴァーティカル・ガーデンシティ(立体緑園都市)を理想とするまちづくりとその運営と環境理念、虎ノ門ヒルズの国交省CO₂先導事業採択プロジェクトの紹介、三菱UFJリースの牧野氏には、カーボンオフセットの考え方や事例の紹介をいただきました。



◎日時:2016年9月13日(火) 14時～17時30分 ◎登壇者:東北大学教授 明日香 壽川 氏、森ビル 武田正浩 氏、三菱UFJリース 牧野佐和子 氏
◎参加事業者:マイラン製薬、森ビル、エムオン・エンタテインメント、東京ガス、西松建設、パナソニック ヘルスケア、DTS、港区 ◎参加:45名

エムオン・エンタテインメント 合馬氏

明日香先生のお話では、世界と日本のスタンスの違いを通して、低炭素社会の構築の必要性を改めて認識でき、森ビル様の話では、テナントの立場の小社がビルオーナーと協働する環境への取り組みの方向性を学ぶことができました。



第4回

パリ協定が変える ビジネスの在り方

パリ協定の内容では5つのポイントをあげ、その中でも温暖化対応の基本理念が「低炭素社会」から「脱炭素」へ移行しており、「できることをしよう」から、「やらねばならないことをやらねばならない」へスイッチしていくことが重要と力説されていました。また世界の企業が取り組み始めた、再生エネルギーを100%使用して業務電力をまかなう「RE100%」についても解説いただきました。気候変動に関するグローバル・コミッショナーは、「気候変動に対応した経済に勝利したものが生き残る」と論じており、今後の日本ビジネスに大きな変革が必要と結びました。



◎日時:2017年1月18日(水) 15時30分～17時30分 ◎講師:国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)特別顧問 国際金融アナリスト 末吉竹二郎 氏
◎参加事業者:エムオン・エンタテインメント、鹿島建設、大地を守る会、DTS、東京ガス、西松建設、日本電気、森ビル、パシフィックネット、港区 ◎参加:19名

大地を守る会 牛島氏

温暖化対策における日本の順位が最低ランクということに驚くとともに、まだまだ「やらねばならないこと」がたくさんあることを実感しました。今後とも他の会員企業、事務局とも情報交換しながら、取り組みを広げていけたらと思います。





話題のエコ施設を訪問

mecc ツアー

エコ施設を見学しながら会員事業者同士の情報交換を行っています



自分たちの街をクリーンアップ

みなとクリーンアップ大作戦

6コースに分かれ、
浜松町付近のクリーンアップ活動を行いました



会員事業者からご提供いただいた物品を販売

mecc エコバザー

売上金は全て積立て、
区内保育園や幼稚園などに寄付をします



「海の森-umi no mori-」見学会

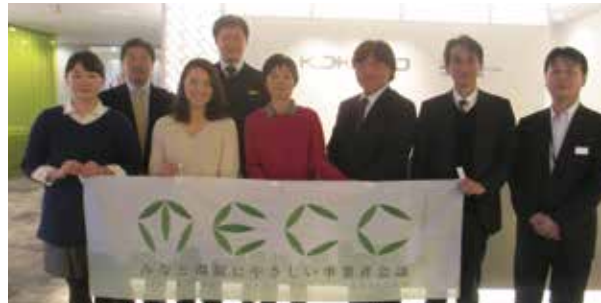
東京都が建設を進めている「海の森」。都職員のガイドで、ゴミと土を交互に重ねたサンドイッチ構造の基盤の説明や、地中ゴミから発生するガスを集める現場、都民・企業との協働で植えられた植栽の見学を行いました。「海の森」でのイベントに出展された森ビルの経験談や解説も加わり、充実した内容となりました。

- ◎日時:2016年9月6日(火) 14時30分～16時
- ◎場所:海の森公園予定地(中央防波堤内側埋立地)
- ◎参加事業者:NECキャピタルソリューション、東京ガス、日本電気、パナソニックヘルスケア、森ビル、リコージャパン、港区 ◎参加:17名

リコージャパン 鳴島氏

ゴミと建設発生土で出来た埋立地に大勢の方の手で植樹された樹木が成長していました。ここに新たな生態系が育まれて、子ども達にとって海と森が環境の学びの場となるように企業としても継続した支援が必要だと感じました。

RICOH
リコージャパン株式会社



「KOKUYO NEXTオフィス」見学会

少子高齢化や仕事に対する価値感の変化により見直される「働き方」。今回は、固定席がなく自由に席を選べるフリーアドレスや在宅勤務などに取り組まれているKOKUYOを見学しました。「経営と現場」、「メンバー同士」、「プロジェクトの内外」を繋ぐことをテーマに働き方と空間を構築していて、オフィスの変革によるワークひとつひとつの価値向上を促す仕掛けにもこだわっています。

- ◎日時:2017年3月14日(火) 15時半～17時
- ◎場所:霞ヶ関 KOKUYOオフィス
- ◎参加事業者:アクセントア、三菱自動車工業、森ビル、港区 ◎参加:8名

アクセントア 谷村氏

社員のことを一番に考えたオフィスということで、仕事におけるスピードやチーム連携を生み出すための様々な仕掛けを目の当たりにすることができました。特に五感に訴えかける工夫は大変興味深かったです！

accenture
ハイパフォーマンスの実現へ



当日は33℃を超える猛暑の中での実施でした。ご家族の参加もあり、子供たちと一緒に植え込みや自動販売機の影など普段は目につかない場所に目を光らせながら、一所懸命にゴミを探す姿が印象的でした。集まったゴミは、可燃ゴミ20袋、不燃ゴミ9袋となりました。(1袋30L)。

- ◎日時:2016年7月30日(土) 9時30分～10時15分
- ◎場所:港区浜松町付近の道路
- ◎参加事業者:大林組、大林組浜松町駅前工事事務所、昭和電工、パナソニックヘルスケア、日比谷総合設備、港区
- ◎参加:49名

大林組 鈴木氏

今年も夏の恒例イベントとして、クリーンアップ大作戦に参加させて頂きました。当日は、気温33℃を超える猛暑の中での実施でしたが、参加した子どもたちに負けないう、汗をかきながらも楽しく清掃に取組みました。

大林組
DAI NIPPON



エコライフ・フェアMINATO2016

- ◎日時:2016年5月22日(日) 10時15分～15時
- ◎場所:港区有栖川宮記念公園 エコライフ・フェアMINATO2016 meccブース
- ◎売上げ:73,300円
- バザーの他、新たに森ビル提供の「バードウォッチング」を同時開催し、親子15組23名の参加がありました。

みなとクリーンアップ大作戦

- ◎日時:2016年7月30日(土) 9時30分～10時15分
- ◎場所:区立神明いきいきプラザ
- ◎売上げ:800円

ハマサイト 打ち水大作戦

- ◎日時:2016年8月4日(木) 13時50分～14時
- ◎場所:浜松町駅北口交通広場(ハマサイト)
- ◎売上げ:2,200円

◎提供事業者:森ビル、東京ガス、森永乳業、マイラン製菓、NTTコムウェア、日本自動車連盟、港区、らでいっしょばーや(エコライフ・フェアMINATO2016のみ)



環境意識を高める夏の看板イベント

打ち水大作戦

再生水等を利用し、打ち水を行っています



新虎通り 打ち水大作戦



- ◎日時:2016年7月22日(金) 17時00分～18時00分
- ◎会場:新虎通り周辺
- ◎主催:新虎エリアマネジメント協議会
- ◎共催:みなと環境にやさしい事業者会議、日本水フォーラム
- ◎後援:港区
- ◎参加事業者:森ビル、横浜ゴム、西松建設、パシフィックネット、パナソニックヘルスケア、港区
- ◎参加者合計:350名

一般社団法人新虎エリアマネジメント協議会主催、mecc共催で新虎打ち水大作戦を開催しました。参加者は浴衣や各社のオリジナルユニホームなど様々な服装で集まり、打ち水がもっとも効果的と言われる17時から行いました。今回は、虎ノ門ヒルズの井戸水、芝浦水再生センターの再生水等を使用し、全部で700Lを新虎通りに撒きました。地域の方も参加し、企業と区民を結びつける意義あるイベントとなりました。



西松建設 川嶋氏

「打ち水大作戦」に使用された水が下水処理(再生)水を活用していることを知り、このイベントの魅力が増しました。「打ち水」の効果なども教えていただき、勉強になりました!



赤坂 打ち水大作戦



- ◎日時:2016年7月28日(火) 15時30分～15時45分
- ◎会場:国際新赤坂ビル西館地下広場
- ◎主催:みなと環境にやさしい事業者会議
- ◎後援:港区
- ◎参加事業者:鹿島建設、博報堂、港区
- ◎参加者合計:86名

今年から新たに加わった赤坂会場。時おりビル風が通り抜けていましたが、気温は30℃を超え、汗ばむ中での実施となりました。打ち水に使用する水は芝浦水再生センターから運搬。近隣保育園児の参加もあり、元気な歓声がビル内に響き渡っていました。1階の通路からのギャラリーも多く、打ち水の取組みがアピールできました。



鹿島建設 秋葉氏

待望の?赤坂地区での開催が実現しました。たまたまサーモカメラを持っていた弊社の社員が、打ち水のビフォー&アフターを撮影したところ、地表の温度は約1.5度下がっていたとのこと。



ハマサイト 打ち水大作戦



- ◎日時:2016年8月4日(木) 13時50分～14時
- ◎会場:浜松町駅北口交通広場(ハマサイト)
- ◎主催:みなと環境にやさしい事業者会議
- ◎後援:港区、プロネクス、文化放送
- ◎参加事業者:プロネクス、文化放送、大林組、日本自動車連盟、日本電気、明治学院大学、ニコ、港区
- ◎参加者合計:65名

今年も文化放送「大竹まことゴールデンラジオ!」で、meccの活動内容や打ち水の紹介を全国へ生中継していただきました。現地レポーターのオジンオズボーンさんのカウントダウンで打ち水を行い、気化熱の影響で広場に涼しい風が吹き抜けました。文化放送のゆるキャラ「キューイチロウ」君も会場に駆けつけ賑わいました。



文化放送 太田尾氏

当日は猛暑にもかかわらず、たくさんの方々に参加いただき本当に楽しかったです。一斉に水をまくと、ふっと気温が下がり心身ともに清らかになりました。打ち水って素晴らしい!





ゴミ拾いはスポーツだ！ スポーツGOMI拾い大会

学生や地元青年会も参加する、区民連携イベントに成長しています



ゴミの重量は昨年よりも10kg以上増え、参加者の意識の高さや参加者の熱意を感じました。



- ◎日時:2016年11月26日(土)10時～12時30分
- ◎会場:JR新橋駅周辺
- ◎協賛:東京ガス、プロネクス
- ◎参加事業者:東京ガス、パナソニックヘルスケア、港区環境課、港区野球部チーム
- ◎参加者数:15チーム 56名(内一般参加 11チーム 43名)

東京ガス 黒木氏

優勝を目指してチーム一丸でゴミを拾いましたが、どのチームも強敵で上位にも入れませんでした。しかし、ゴミが宝物のように見えるほど楽しく充実した時間を通して、街もきれいになりました。皆さんも一度参加してみてください。



会員事業者の取組みを一堂に展示

mecc EXPO

エコプラザに来館する区民などへの情報発信の場として



1ヶ月間、エコプラザにて各会員事業者の取組みをまとめて区民に発信するイベント「mecc EXPO」を開催しました。初めての開催でしたが、36事業者の様々な展示は圧巻で、区民に幅広く認知いただく良い機会となりました。展示は、CSR活動報告書やパネル、ポスター、ホームページなど幅広いコンテンツ



に対応しており、年齢層に応じて、それぞれに合った情報提供がされていました。また期間中、第4回 mecc セミナーを開催し、参加した多くのCSR担当者が他社の活動をより身近に知る場にもなり、大変好評をいただきました。

- ◎日時:2017年1月4日(水)～31日(火) 10時～20時
- ◎会場:エコプラザ 1階展示スペース
- ◎参加事業者:アクセンチュア、あすか製薬、イー・ギャランティー、NECキャピタルソリューション、エムオン・エンタテインメント、鹿島建設、サントリーホールディングス、昭和電工、世紀東急工業、大地を守る会、知識経営研究所、テクノプロ・ホールディングス、東京ガス、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、日本通運、日本電気、パシフィックネット、長谷工コーポレーション、パナソニックヘルスケア、日比谷総合設備、プロネクス、文化放送、文祥堂、文星閣、ベネッセコーポレーション、マイラン製薬、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコージャパン ◎来場者合計:約4,000名

森永乳業 長井氏

自社の活動をコンパクトに発信出来、直接区民の方々に見ていただく良い機会でした。他の企業の活動報告も参考になりました。



mecc は、地域、区民、企業が一体となり
発信・参加・学習することで新しいアイデアがカタチになる活気ある場を
mecc 会員になって、一緒に活動に参加しませんか？



mecc に参加するには？

みなと環境にやさしい事業者会議は
企業の環境活動、CSR 活動、省エネ活動などの問題点に地域、企業、区民が同じ立場にたち
業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場になりたいと思っています。
環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、
そして、アイデアが次々とカタチになっていく活気のある場を提供しています。
また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しています。
イベントやボランティアの参加企画をご紹介します。
関心のあるテーマにかかわるイベントや、お近くで開かれる催し物に、ぜひ参加してみてください。

「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO₂削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- CSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験



「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心ある事業者。
事業規模の大小、法人の形態(株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等)を問いません。



5万円(1口)
◎会費等は、事業運営費等に充てられます。



- ・ 総会の開催（年1回）
- ・ 「企業と環境展」の開催（年1回）
- ・ 分科会の開催（事業の内容に応じて）
- ・ 各イベントの実施（打ち水、クリーンアップなど）
- ・ セミナーの開催
- ・ meccツアー（視察・見学ツアー）の実施

2016年度mecc会員一覧 （五十音順）

- | | |
|---------------------|------------------|
| アクセンチュア株式会社 | 一般財団法人日本自動車連盟 |
| あすか製薬株式会社 | 日本たばこ産業株式会社 |
| 株式会社安藤・間 | 日本通運株式会社 |
| イー・ギャランティ株式会社 | 日本電気株式会社 |
| NECキャピタルソリューション株式会社 | 日本道路株式会社 |
| NTTコムウェア株式会社 | 株式会社博報堂 |
| 株式会社エムオン・エンタテインメント | 株式会社パシフィックネット |
| 株式会社大林組 | 株式会社長谷工コーポレーション |
| 笠井設計株式会社 | パナソニック ヘルスケア株式会社 |
| 鹿島建設株式会社 | 日比谷総合設備株式会社 |
| カワセ印刷株式会社 | 株式会社プロネクス |
| サントリーホールディングス株式会社 | 株式会社文化放送 |
| 株式会社シュガーアンドスパイス | 株式会社文祥堂 |
| 昭和電工株式会社 | 株式会社文星閣 |
| 世紀東急工業株式会社 | 株式会社ベネッセコーポレーション |
| 株式会社大地を守る会 | 本田技研工業株式会社 |
| 株式会社ダイフク | マイラン製薬株式会社 |
| 太陽企画株式会社 | 丸新運輸株式会社 |
| 株式会社知識経営研究所 | 三菱自動車工業株式会社 |
| 都築電気株式会社 | 港区 |
| テクノプロ・ホールディングス株式会社 | 明治学院大学 |
| 株式会社DTS | 森永乳業株式会社 |
| 東京ガス株式会社 中央支店 | 森ビル株式会社 |
| 株式会社東京フォレストパワー | ヤマハ株式会社 |
| 株式会社東京放送ホールディングス | 横浜ゴム株式会社 |
| 株式会社ニコン | リコージャパン株式会社 |
| 西松建設株式会社 | |